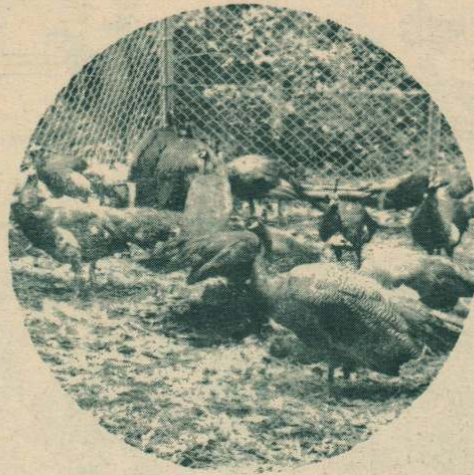


市民の森に クジヤク園が完成

インドクジヤク 25羽を放す

先月二十三日、「市民の森」のシカ園隣りにクジヤク園が完成、インドクジヤク二十五羽が放されました。クジヤクはいずれも仙台市にある八木山動物園から贈られたもので、今後はシカ園とともに、子供たちのアイドルになるものと期待されています。

市では生きた動物を自然の中から、一昨年、国際児童年を記念して鑑賞できる場が少ないことから、仙台市八木山動物園の好意も



あり「市民の森」にシカ園を開設しましたが、今度は、同じ八木山動物園からインドクジヤクの成鳥オス四羽、メス九羽、ヒナ十二羽、計二十五羽がプレゼントされ、先月二十六日、シカ園隣りにクジヤク園を開園しました。

園舎と金網張りの運動場は、九月中旬から約百二十万円をかけ作られていたもので、広さは約百五十平方メートル。早速訪れた子供たちの中には、実物を見るのは初めてという子供もいて、色鮮やかなクジヤクに目を輝かせ驚きの声をあげていました。
インドクジヤク
キジ科の飼ひ鳥で、インドに分布する。マクジヤクよりやや小さく翼長は五十五センチくらいで尾羽も短い。インドの国鳥。

「教育を語る会」 「市政懇談会」を開催

市では、先月十三日に終了した「市民と語る会」に引き続き「地域の教育を語る会」と「市政に対する要望を聴く懇談会」を開催しました。



六月から五カ月間にわたり四十会場で実施した「市民と語る会」は、十月十三日の南ヶ丘会館で全日程を終了しました。この語る会で市民の皆さんから出された要望等については、できるだけ早く実現するよう努力しています。

先月十三日から学区ごとに始まった「地域の教育を語る会」は、児童生徒の教育環境をよくするために行われたものです。会には、学校PTA役員や学校関係者などが出席し、学校の改築、通学路、学区問題などの要望が活発に出されました。

がんばります



第十八回全国身障者 スポーツ大会で大活躍

富樫吉之助さん (幸町)

先月十七、十八日島根県松江市で行われた大会に当市からただ一人参加した富樫吉之助さんは、出場選手のひとつが二十歳代の中でソフトボール投げ競技で銀賞、障害競歩で銅賞という優秀な成績を取られました。富樫さんは、一種二級(両下肢機能障害等)という重い障害をもち、曲げ物の仕事をするかたわら障害者の方々の相談員としても活躍しています。「これからも練習を続け、そして若い人たちの指導にもあたりたい」と話していました。

また、二十日からは商工、農林、婦人、青年、文化など各界ごとの「市政懇談会」が開かれ、各団体の役員が出席して、商工業、農林業、福祉、スポーツなど当面する問題についての要望や意見が出されました。

これらの会で出された要望や意見などは、来年度予算や市政に反映させ、住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいきます。

フォトニュース



第2回大館吹奏楽団定期演奏会

▲ 市民文化祭

10月23日の「書道と盆栽展」から始まった第12回目の市民文化祭。芸術文化連盟に加盟の49団体約4,000人が、市民文化会館でこの1年間の成果を発表しました。

第31回 秋田県職場総合美術展

10月22日から6日間、正札竹村で行われた同美術展には、勤労者が余暇を利用して創作した写真、書道、画、工芸など90点もの力作が展示されました。



秋田県職場総合美術展



▲ 勤労青少年ホームの「第16回ホーム祭」

10月21日から23日まで、ホーム祭がにぎやかに行われました。ホーム祭では、テレビでおなじみのフィッシングカップル5対5やカラオケ大会、サークル紹介、ダンスパーティー、お茶会が行われ利用者同士の友好を深めました。

市政発展に尽力された 九氏、一団体を表彰

市では、大館市の発展に貢献された方々をたたえて、十月三十一日市民文化会館で昭和五十七年度市政功労者表彰式を行いました。今回は、福祉の増進や産業の振興など、それぞれの分野で活躍された九人の方と一団体に大館市長から表彰状と記念品が贈呈されました。受賞された方々は次のとおりです。

▲ 自治功労

★鳥潟哲治氏(73歳) 花岡町



同氏は、多年にわたり市議会議員として市政の発展伸張に尽されました。

▲ 教育功労

★岩根重太郎氏(52歳) 雪沢



昭和三十七年にスポーツ少年団を結成して以来、組織の強化を図り地域少年スポーツの振興に寄与されました。

▲ 産業功労

★島山淳一氏(57歳) 餌釣



昭和三十四年ガラスハウス研究会を作り、施設園芸の先駆者として耐雪節約型ハウスを開発積雪地帯でのハウス栽培の定着と後継者育成に尽力されました。

▲ 斎藤吉郎氏(57歳) 桂城



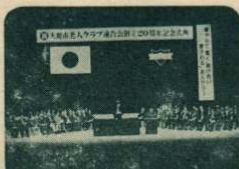
同氏は、多年にわたり樺細工製品のデザイン開発に尽力され、樺細工産業の発展に寄与されました。



★菅原米太郎氏(67歳) 板子石
同氏は、多年にわたり農業委員会会長として、会の運営と市の農業振興発展に尽力されました。

▲ 団体功労

★大館市老人クラブ連合会



同団体は、教養研修、スポーツ等を実施し老人福祉の高揚に寄与されました。特に秋田県老人スポーツ大会では、昭和五十三年以来五年連続優勝を成し遂げ、老人に生きがいを与えてくれました。